

息を合わせた演奏を



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号

5月29日(金)に、文化祭での発表に向けて猛練習中の箏曲部を取材した。



耳にする機会が少ないと思うので、学園祭の発表を通して皆さんに和楽器やお琴の良さを知ってほしいと思っています。

箏曲部

部長
笠原雪那さん(213)

私は部活紹介で先輩の演奏を聴き、感動したので入部しました。部員数は50人を超えるととも人数の多い部活ですが、ジメジメした雰囲気はなく、みんなとても仲が良いです。普段の練習の際は技術よりもチームワークを重視して、全員でいい音を奏でられるようにしています。学園祭の発表の際に着る浴衣は、全員が自分で着付けをできるようにしています。お琴は普段

近藤陽子さん(214)

箏曲部の魅力は、昔からの日本の楽器を弾けることです。日本人としてそのような楽器に触れることは幸せだと思います。あと、浴衣の着付けや礼儀作法も学べるのでいい勉強になると思います。



音を合わせることに集中

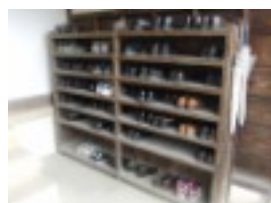
琴の演奏に使う爪は消耗品で、使い込むと黒い塗装がはがれてくる。個人差はあるが、学年が上がるほどぼろぼろになる傾向があるそうだ。



BIGサイズの十七弦

青春メモリアル

使い込んだ爪(親指)はぼろぼろに



誰の靴だかわからなくなる下駄箱

梅本真緒さん(211)
ソーラン節の練習と部活の両立が大変だけど、どちらも頑張ってる文化祭ではみんなに感動してもらえる演奏がしたいです。

武富由夏さん(214)
箏曲部はわきあいあいと楽しく活動しています。上下関係もありません。

村川弥生さん(116)
体育館で演奏を聴いて入部したいと思いました。長時間の正座は大変だけど、先輩もいい人ばかりなので楽しいです。

部長の一言



とても親切な部長

小川祐妃さん(114)
琴をひいた経験がなく、最初は知らない記号のある楽譜が読めるか不安でしたが、徐々に慣れてきました。

文化祭の演奏を是非見に来てください!

小川祐妃さん(114)
琴をひいた経験がなく、最初は知らない記号のある楽譜が読めるか不安でしたが、徐々に慣れてきました。